

**JSSZ MEETING 2014**  
**日本動物分類学会第50回大会案内 国立科学博物館**

日本動物分類学会の大会を以下の要領で開催いたします。今回は記念すべき第50回となる大会です。皆様ふるってご参加下さいますよう、よろしく願いいたします。

**▲ 概要**

大会期日：2014年6月14日（土）～15日（日）

大会会場：独立行政法人国立科学博物館筑波地区 [茨城県つくば市天久保4-1-1]

懇親会会場：オークラフロンティアホテルつくば・カメラア

一般公開講演会会場：国立科学博物館上野本館

主催：日本動物分類学会

共催：国立科学博物館

**▲ スケジュール**

通常の研究発表以外に、一般公開講演会と国立科学博物館の標本庫の見学会を予定しています。標本庫の見学会は事前申し込み制となっています。

研究発表の申込数によりスケジュールを変更する可能性があります。最新スケジュールは日本動物分類学会ホームページ

<http://jssz.sakura.ne.jp>

または日本動物分類学会第50回大会ホームページ

<https://sites.google.com/site/2014kantojssz/>

をご参照頂くか、大会事務局までお問い合わせください。

6月13日（金）

18:00～20:00 一般公開講演会  
（予定）

6月14日（土）

10:00～12:00 評議員会

12:00～ 受付

13:00～16:30 口頭発表

16:30～17:45 総会，記念写真撮影

18:30～20:30 懇親会

6月15日（日）

9:00～10:00 受賞記念講演

10:00～12:00 口頭発表

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 ポスター発表

14:00～16:00 口頭発表

16:00～17:30 標本庫見学会

**▲ 締め切りと参加費など**

当日参加も受け付けますが、準備の都合上、出来る限り事前の申し込みをお願いいたします。参加費等は当日お支払い下さい。

参加申し込みならびに要旨提出締め切り：2014年5月14日（水）

大会参加費

締め切り前に申し込みした場合：一般3000円，学生1000円（当日参加は一般4000円，学生1000円）

ただし、発表をしない学部学生の場合  
は無料とします

#### 懇親会費

締め切り前に申し込みした場合：一般  
6000円，学生3000円（当日参加は一般  
7000円，学生3000円. 参加人数によって  
当日参加はお断りすることがあります）

お弁当（6月15日の昼食）

700円程度を予定．参加申し込みの際に  
お申し込み下さい．徒歩圏内に数軒の  
レストランはあります．

大会ロゴ入りトートバッグ

1000～1500円程度での販売を予定．参  
加申し込みの際にお申し込み下さい．  
デザイン等決まりましたら，ウェブペ  
ージ等でご案内します．多数製作する  
と価格が下がりますので，是非ともご  
購入下さい．

#### ▲ 会場へのアクセス

国立科学博物館筑波地区（大会会場）

つくばエクスプレス線つくば駅より  
バスでお越し下さい．つくばセンター  
バスターミナルの6番乗り場より「筑波  
大学循環左回り」に乗車し，「天久保池  
（あまくぼいけ）」（所要時間10分）で  
下車し，徒歩8分ほどです．または，5  
番乗り場より「テクノパーク大穂行き」  
に乗車し「筑波実験植物園前」（所要時  
間10分）で下車し，徒歩3分ほどです．  
どちらもあまりバスの本数がありません  
のでご注意下さい．つくば駅からタ  
クシーをご利用の場合，所要時間5分ほ  
どでおよそ1100円です．

[http://www.kahaku.go.jp/userguide/  
access/tbg/index.html](http://www.kahaku.go.jp/userguide/access/tbg/index.html)

[http://www.kantetsu.co.jp/bus/rose  
n/timetable/tsukuba.html](http://www.kantetsu.co.jp/bus/roserose/timetable/tsukuba.html)

オークラフロンティアホテルつくば・  
カメラア（懇親会会場）

つくばエクスプレス線つくば駅A3出  
口から徒歩3分．

[http://www.okura-tsukuba.co.jp/acc  
ess/](http://www.okura-tsukuba.co.jp/access/)

国立科学博物館上野本館（一般公開講  
演会会場）

JR上野駅公園口から徒歩5分．東京メ  
トロ（銀座線，日比谷線）上野駅，京  
成線京成上野駅からは徒歩10分ほどで  
す．

[http://www.kahaku.go.jp/userguide/  
access/index.html](http://www.kahaku.go.jp/userguide/access/index.html)

国立科学博物館（筑波地区，上野本館）  
への車での来場はご遠慮下さい．宿泊  
の斡旋は行いません．

#### ▲ 参加・発表申し込み方法

参加及び発表をご希望の方は，以下  
の情報を大会事務局まで電子メール  
（使えない方は郵送）にてお送り下さ  
い．電子メールでは，件名を「動物分  
類学会参加申し込み-発表者のお名前」  
としてお送りください．受付の回答を  
差し上げます．万一，回答が来ない場  
合はご連絡をお願いします．

参加は学会員以外でも受け付けます．  
発表は2014年度会費納入済みの学会員

に限ります。共同発表者に学会員以外を含んでも構いません。

氏名：

一般・学生の種別： 一般・学生

所属：

連絡先住所：

電話：

E-mailアドレス：

郵送による連絡： 要・不要

(経費節約のためご協力ください)

お弁当(6月15日)： 要・不要

懇親会： 参加・不参加

大会ロゴ入りトートバッグ： 要・不要  
(2個以上の場合は数をご記入下さい)

標本庫見学ツアー： 参加・不参加

発表： する・しない

発表方法の希望： 口頭・ポスター

口頭発表のPCの種類： Win・Mac

口頭発表での動画使用の予定： 有・無

講演者名(発表者の前に<sup>○</sup>印)：

演題：

### ▲ 発表

締め切りまでに講演要旨をお送り下さい。発表希望者の数により、事務局から発表方法(口頭・ポスター)の変更をお願いする場合があります。その際にご協力をお願いいたします

講演要旨作成要領

- ・別紙の要旨の見本をご覧ください
- ・A4用紙(縦)1枚に収まるようにご準備ください

・タイトル、講演者(発表者の前に<sup>○</sup>印)とその所属、要旨本文の順としてください

・文字サイズは12ポイントとし、シングルスペースとしてください

・ファイル形式はMicrosoft Wordあるいはその他の編集可能なものとしてください(PDFは不可)

・英語で発表される場合は、要旨も英文で構いません

・大会事務局の方で書式を揃えるなど手を入れさせていただく場合があります

・大会事務局まで、電子メールにてお送り下さい。その際、件名を「動物分類学会講演要旨-発表者のお名前」としてお送りください。受付の回答を差し上げます。万一、回答が来ない場合はご連絡をお願いします。

ポスター作成要領

ポスターを貼り付けるボードは、縦の長さが約170cm、横の幅が約110cmを予定しています。

口頭発表要領

発表時間は12分、質疑3分の計15分を予定しています。

### ▲ 一般公開講演会

「世界の動物に名前をつけよう～動物分類学への招待～(仮題)」

期日：2014年6月13日(金)

時間：18:00～20:00(予定)

場所：国立科学博物館上野本館講堂

主催：日本動物分類学会

共催：国立科学博物館

内容や実施要領が決まり次第，ホームページ等でご案内を差し上げます．

▲ 大会実行委員会・事務局

大会長

窪寺恒己（国立科学博物館）

大会実行委員長

藤田敏彦（国立科学博物館）

大会実行委員

並河 洋（国立科学博物館）

小松浩典（国立科学博物館）

清 拓哉（国立科学博物館）

神保宇嗣（国立科学博物館）

参加申し込み・問い合わせ先

〒305-0005 つくば市天久保4-1-1国立科学博物館

日本動物分類学会第50回大会事務局

藤田敏彦

Tel: 029-853-8305（直通）

Fax: 029-853-8998

E-mail: [fujita@kahaku.go.jp](mailto:fujita@kahaku.go.jp)

## 講演要旨（見本）

### ヒメヘソイレコダニ属（Oribatida: Mixonomata: Euphthiracaridae）の未記録種の報告

○島野智之<sup>1</sup>・Sina Adl<sup>2</sup>

<sup>1</sup>宮城教育大学環境教育実践研究センター; <sup>2</sup>Department of Soil Science, College of Agriculture and Bioresource, University of Saskatchewan

ササラダニ類のうち、ヒメヘソイレコダニ属 *Acrotritia* のダニ類は世界から 40 種以上が知られている。このうち *A. ardua* は世界中に広く分布し、生息環境も海岸の風衝低木林から、天然ブナ林、あるいは標高 3,000 m の高山地帯など様々なところから報告がされている。本属は日本から 2 種が報告されているが、本報告ではさらに未記載種と考えられる 2 種について報告する。

日本産のヒメヘソイレコダニ *Acrotritia ardua* (C. L. Koch, 1841) は、Aoki (1980) および島野・青木 (1997) によって、M 型と BT 型の種内 2 型が報告されていた。M 型と BT 型は、爪の数が monodactyl (1-1-1-1) か bi-tridactyl (2-3-3-3) かという点が最も大きな区別点である。これ以外にも、M 型は前体部の *ro-in* の距離と *in-le* の距離が等しいが、BT 型は *ro-in* よりも *in-le* の方が 1.5 倍程度長いという特徴がある。

国内 30 地点から得られた 200 個体を用いて、核遺伝子の 3 領域、SSU rRNA 遺伝子、ITS2 領域、LSU rRNA 遺伝子 D3 領域の塩基配列を得て、基産地のそれぞれの種と比較した結果、M 型は *A. sinensis* Jacot, 1923 と、BT 型は *A. ardua* とクレードを作った (Shimano, 2012)。

また、この遺伝子解析によって得られた系統樹からは、M 型と BT 型の 2 つのクレードだけではなく、新たな 2 つのクレードが見いだされた。西表島産のマングローブ林の樹上から見いだされた *Acrotritia* sp. 1 と、北海道厚岸産の海岸有機物から見いだされた *Acrotritia* sp. 2 である。*Acrotritia* sp. 1 は 2 本の *ag* が transverse の配置にあり、*A. ardua* の *ag* がもつ vertical な配置とは異なっていた。一方、*Acrotritia* sp. 2 は背毛 *c1* および *c2* が他の背毛の 1.5 倍の長さであった。本属のなかで、*Acrotritia* sp. 1 および *Acrotritia* sp. 2 のこのような特徴を持つものは知られていない。

本報告で扱ったヒメヘソイレコダニ属の未記載種はいずれも体長 0.3 mm 以下の小型種であり、また生息場所は採集されにくい環境であった。これまでササラダニ類は土壌を中心に調査がなされてきたが、樹上や潮間帯等の様々な環境の調査が進むにつれ、今回報告した未記載種の新たな生息場所や、さらなる未記載種が発見される可能性もある。